

# 白神の絆



【発行】林野庁 東北森林管理局  
津軽白神森林生態系保全センター

住所：〒038-2754 青森県西津軽郡鰹ヶ沢町大字米町 25-2

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

## 大きく育つね。～第一回自然再生活動～

令和元年7月20日（土）、第一回自然再生活動に参加者20名（うち子供8名）が西目屋村鬼川辺国有林で実施しました。開会式においてセンター所長より「白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を、元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していき、100年後を見すえた長い取り組みです。みなさん心を込めて植えてください。」と挨拶。その後、2年前に植えた箇所を下草に覆われながらも大きく育ったブナの稚樹を見てもらい、周りの下草を刈り払う作業を行いました。参加者からは「キレイになって良かったね」との声が聞かれ、今後の追加プログラムとして検討したいと思います。

広葉樹の苗木掘り取りでは、センター職員から写真で、高く育つ樹木の種類（ブナ、ミズナラ、カエデ）の説明がされ一同は作業に入りました。なかには腰の高さほどの大きな苗木（ブナ）を一生懸命掘り取った方もいました。その後植え付け箇所へ移動し、小さいお子さんも頑張って植えていました。

午後からは、弘前大学白神自然環境研究センターの自然観察園を散策し、白神山地と同様の自然環境を満喫しました。最後は「水の週間」にちなみ津軽ダムを見学し、記念撮影後閉会しました。

実施後のアンケートには「若い人たちが大切につないでいって欲しい」・「子供たちが自然に興味をもっているようでうれしかった」などの回答がありました。また、「説明がよく聞こえなかった」などの反省点もあり、今後は意見をふまえて充実した活動にしていきます。（小倉）



植え付けの様子

## 白神山地の自然や動物わかるかな？ 緑の少年団8団体214名と交流



開会式の様子

西北地区緑の少年団交流会（グリーンジャンボリー）が7月30日（火）、鰹ヶ沢町長平の長平青少年旅行村鰹ヶ沢キャンプパークで開催され、同町ほか3市町の緑の少年団8団体214名（小学4・5年生）、スタッフ36名、計272名が参加。木工教室、自然環境、ゲームなど学びながら交流を深めていました。

交流会は西北地域県民局、津軽流域活性化センターが主催、当センターは今年度初参加で「森林教室ミッション」の森の動物コーナーにて

白神山地周辺で行っている哺乳類生息調査及び白神山地の自然についての紹介と活動班2班のリーダーを担当しました。西北地域県民局農林水産部葛西次長が、ほかの少年団と一緒に活動し友達をたくさんつくりましょうと挨拶、一同は12班に分かれ自己紹介を行ったあと、木の名前クイズや丸太切りゲームなどの各ミッションに向かいました。

昼食後には木工教室でスギの木を使ったティッシュボックスを作成しましたが、普段使用しないノコギリやカナヅチに一苦労していましたが、お互い協力して作成していました。

参加した小学生からは、「自然に関していろんなことを学べた」、「木工教室が楽しかった」との感想が聞かれました。

当センターは今回が初めての参加となり、小学生の皆さんに白神山地保全のことを少しでも知ってもらえたかな？とっております。なかには私たちよりも詳しく知っている子もおり担当者も冷や汗を流す場面が少々ありました。この中で誰かが国有林に入ってくれたらと思う筆者でした。（佐々木）



**木工教室の様子**

## ◎森林教室ミッションでの様子

当センターが担当したミッションは森の動物たちというテーマでしたので、白神山地周辺地域の中・大型哺乳類調査業務で使用している赤外線センサーカメラと写った動物たちの紹介をしました。

最初にどういう調査をしているのか説明して、そこで使用しているセンサーカメラの紹介をしました。センサーカメラを見たことがない子達ばかりでカメラの小ささに驚き、事前に設置して作動させておいたカメラの画像を子ども達に見せると、音も光もなく誰にも気付かれず撮られていたことにも驚いていました。カメラに興味を持った子ども達から、どうやって撮影されるのか、カメラや単3電池の値段などなど、多くの質問が飛んできました。

次に、センサーカメラで撮影された動物の写真を見せて、こちらから動物の名前を質問する前に、子ども達が矢継ぎ早に答えてくれたり、ニホンザルのおでこやツキノワグマの耳だけが写った写真をクイズ形式で出した瞬間に答えられ、動物への関心の高さが垣間見られました。このミッションで白神山地やその周り、自分たちがいる地域の自然には多くの動物が住んでいることを知ってくれたことでしょう。（葛西）



**センサーカメラの説明**



**撮影された動物を説明**